



▲はりま春風フェスはたくさんの人で賑わいました

▶木々の緑がますます濃くなり、さわやかな風がいろんな花の匂いを運んできます。それにつられてチョウやミツバチも大忙し。先日、白、桃色、紅色と色鮮やかに咲くつつじを見かけました。子どもの頃、公園に咲いているつつじの蜜をよく吸っていたことを思い出します。ところが、つつじの中には食べると体に良くない影響を与える種類もあるそうです。良い子のみんなは吸っちゃダメですよ。役場前の花壇では色とりどりに咲き誇る花たちが、来庁する皆さまをお迎えしています。駐車場側は「播磨町花と緑の協会」、山陽電車播磨町駅側は「播磨町消費者協会」の方々が丹精込めてお世話をしてくださっています。毎日の水やりやお手入れなど、本当にありがとうございます。きれいなお花を見たらなんだか幸せな気持ちになりますね。これからも花と緑で心をつなぐまちづくりを進めてまいります。

▶初夏を思わせる日差しのもと、4月26日に「第3回はりま春風フェス」を開催しました。各ブースもステージもイベントもどれも大盛況。ゴールデンウィークの楽しいひとときを満喫していただけたのではないのでしょうか。準備、運営にご尽力くださいました関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。来年もさらに楽しい企画を用意して、皆さまのご来場をお待ちしています。

▶5月7日に開催した播磨町議会臨時会で、役場第1庁舎に隣接する土地の購入にかかる予算案を可決いただきました。この土地を駐車場として活用することで、駅周辺の活性化を図るとともにパーク＆ライドによる渋滞の緩和や環境にやさしいまちづくりを推進していきたいと考えています。

▶交通事故のニュースを聞くたびに胸が痛みます。特に高齢者が関わる事故が増加傾向にあります。播磨町では高齢者の方が安全に運転できるように、ペダル踏み間違い急発進抑制装置の取付費用の一部を補助しています。また、運転免許証を返納される高齢者の方にICOCAカードを5,000円分交付しています。お気軽にご相談ください。

播磨町長 佐伯 謙作



保健師だより おいんきですか?

健口ニュース

～6月4日から10日は歯と口の健康習慣です～
「歯みがきで 丈夫な体の 基礎づくり」

問 健康福祉課健康係 ☎079-435-2611

「歯周病」は中高年の病気? 成人の約8割が罹患しているといわれる歯周病。近年、20～30代の若い世代でも、罹患者が急増していることをご存じでしょうか。

歯周病とは 歯と歯茎の間に溜まったプラーク（歯垢）にすみつく「歯周病菌」によって、歯茎に炎症が起る感染症です。重症化すると歯が抜け落ちてしまいます。

全身の健康は歯の健康から 歯周病は自覚症状がほとんどありません。放っておくと、歯周病菌や炎症物質が歯茎の血管から全身に回り、気づかない間に糖尿病や心疾患をはじめとす

る生活習慣病や、認知症、早産等の様々な病気を引き起こします。そのため、歯周病にならない・悪化させないように、日々のケアと検診で予防することが大切です。

①ホームケア 歯周病を防ぐには、プラーク（歯垢）を溜めないことが大切です。毎日の歯磨きを丁寧に、欠かさず行いましょう。歯と歯の間等、歯ブラシでは磨けないところには、歯間ブラシやフロスを使うことも必要です。

②かかりつけ歯科医院で検診 かかりつけの歯医者を持ち、定期的にプロのクリーニングや口内チェックを受けましょう。



お口の健康を保って、食事やコミュニケーションを楽しみましょう。

歯周病検診

播磨町では歯周病検診を無料で実施しています。今年度から若い世代も対象になるよう拡充しました。20歳・25歳・30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳になる人です。ぜひご利用ください。（対象者には受診券を送付しています）

楽屋裏

大阪・関西万博に行ってきた人のお話を、耳にする機会が少しずつ増えてきました。

播磨町も大阪・関西万博に出展します。6月13日に、会場の関西パビリオン内にある兵庫ゾーンの回廊で、町のPRをします。また14日には、「尼崎万博PR&R駐車場」の隣接地で開催される「ひょうご楽市楽座」にも出店・出演します。

これから暑さが気になる季節です。会場に行くときには、体調管理をしっかりして、無理のないように万博を楽しみましょう。

(宮)

県立東はりま特別支援学校

ぴかぴかの1年生 ようこそ東はりまへ!

「わくわく」という言葉、よく使いますよね。うれしいときの気持ちを表すことが多いけれど、昔は不安な気持ちを表す時にも使われていたそうです。「新しい友だちや先生に会えるのは楽しみ！」でも、同時に「ちよつと緊張するなあ。」新しい生活が始まる4月の複雑な気持ちを表すのに、まさに「わくわく」はぴつたりの言葉だと思っています。

4月9日、本校で入学式が行われ、17名の1年生を迎えました。お父さんやお母さんの隣に座る子どもたち。初めての環境に少し緊張した表情でも、教室に戻り、担任の先生の優しい言葉を聞くうちに、少しずつ笑顔が生まれてきます。これから始まる学校生活、うれしさいっぱい「わくわく」を大切にしながら、不安な気持ちにもしつかりと寄り添っていきます。



▲小学部入学式

アドバイザーの年次報告ができました

まちづくりアドバイザーの制度が始まって6年目になりました。協働のまちづくり宣言や、地域の様々な活動や居場所づくりに関わりながら、まちづくりを進めてきました。

まちづくりアドバイザーの1年間の取組をまとめた報告書を毎年発行しています。令和6年度の報告が完成しました。令和6年度も、様々な場所での対話の場づくりを進めました。例えば町長と語ろうオープンミーティングや各種計画策定の参加型ワークショップ、コミュニティ委員会でのこれからの地域づくりに関する対話などです。アドバイザーに着任したのは、ちようどコロナ禍がはじまったころでした。その頃と比べると、日常を取り戻し、顔を合わせて話し合えるようになったことがとても嬉しく思います。対話の機会を増やしている一つの理由が、播磨町での出来事に少しでも参加する機会をつくり、



▲野添コミセンでの話し合いの様子

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーが届けます

まちアド通信

協働推進課住民協働係 ☎079-435-2364